

第4編 切土のり面

1. 切土のり面情報の構成	4-1
1-1 構成	4-1
1-2 作成概要	4-2
2. 切土のり面情報の作成方法	4-3
2-1 作成単位	4-3
2-2 作成タイミング	4-6
2-3 作成者	4-7
2-4 作成内容	4-8
3. 切土のり面情報の作成定義	4-15
3-1 基本定義	4-15
3-1-1 切土のり面番号の付与方法	4-15
3-1-2 保護工番号の付与方法	4-17
3-1-3 排水施設番号の付与方法	4-17
3-2 【削除】基本資料情報	4-18
3-2-1 【削除】基本資料情報の作成	4-18
3-2-2 【削除】添付ファイルの命名規則	4-18
3-2-3 【削除】添付ファイルの作成規則	4-18
3-2-4 【削除】平面図	4-18
3-2-5 【削除】保護工施工図	4-18
3-2-6 【削除】排水こう施工図	4-18
3-2-7 【削除】横断図	4-18
3-2-8 【削除】地質図	4-18
3-2-9 【削除】周辺土地情報図	4-18
3-2-10 【削除】のり面スケッチ	4-18
3-2-11 【削除】のり面完成図	4-18
3-2-12 【削除】対策工状況図	4-18
3-2-13 【削除】切土崩壊状況図	4-18
3-2-14 【削除】動態観測状況図	4-18
3-2-15 【削除】その他資料	4-18
3-3 工事情報	4-19

3-3-1	切土のり面基本情報	4-19
3-3-2	【削除】切土のり面基本情報資料	4-21
3-3-3	のり面諸元情報	4-22
3-3-4	【削除】地形・地質情報	4-26
3-3-5	【削除】周辺土地情報	4-26
3-3-6	【削除】管理重要度情報	4-26
3-3-7	段情報	4-27
3-3-8	【削除】建設時対策検討情報	4-32
3-3-9	保護工情報	4-33
3-3-10	排水施設情報	4-42
3-3-11	【削除】崩壊情報	4-45
3-3-12	【削除】切土崩壊情報資料	4-45
3-3-13	【削除】対策情報	4-45
3-3-14	【削除】工法変更情報	4-45
3-3-15	【削除】動態観測情報	4-45
3-3-16	【削除】動態観測計器情報	4-45
3-3-17	【削除】報告書情報	4-45
3-3-18	切土のり面特殊土工	4-46

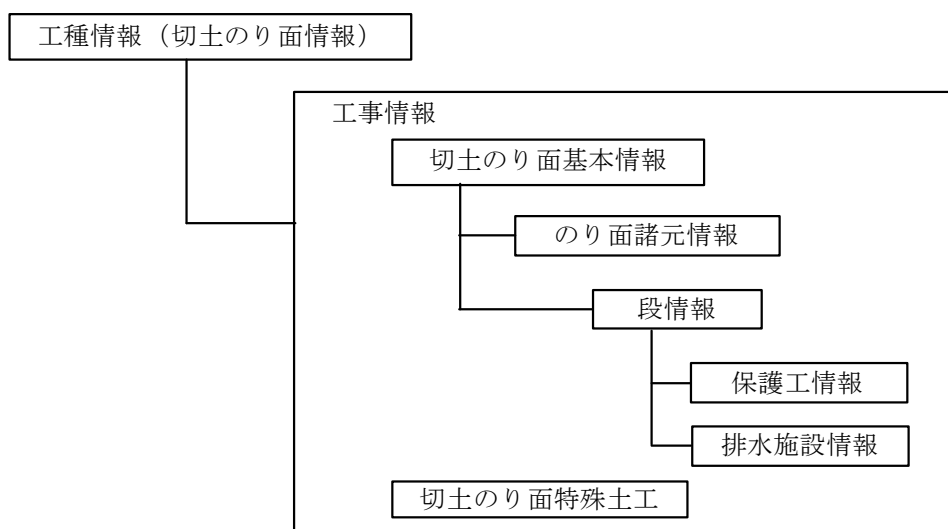
1. 切土のり面情報の構成

1-1 構成

切土のり面情報とは、切土のり面工事の内容を取りまとめたしゅん功書類の1つであると共に、管理部門への引継ぎ資料とするものである。切土のり面情報のデータ活用は、高速道路に隣接する切土のり面部の管理・資産状況を把握する上での基礎データとなるものであり重要な情報である。

切土のり面情報の構成は、工事記録収集システムでデータ入力（作成）を行う各種情報に分類されている「工事情報」から成る。

なお、工事記録収集システムへのデータ入力の際に参照した平面図、保護工施工図、排水こう位置図等は、必要に応じて監督員に提出すること。



1-2 作成概要

切土のり面情報作成にあたり「のり面諸元情報」、「段情報」「保護工情報」「排水施設情報」の必須情報がある。

基本的なデータ作成区分について下表に一覧表で示す。

また、データ作成の際に基本とする考え方を以降、作成単位、作成タイミング、作成者に説明する。

データ作成区分表

情報項目	作成単位	作成内容	作成タイミング			作成者			
			建設時	補修時		会社	受注者		
				有	無		調査等	土工	舗装
切土のり面基本情報	1のり面毎	高速道路における切土のり面位置を示す。	○	○	○	△	○	○	—
のり面諸元情報	1のり面毎	のり面全体の面積・のり肩延長や注意ランクを示す。	○	○	—	△	△	○	—
段情報	1のり面毎の1段毎	1段(1のり面+1小段)の位置・寸法等を示す。	○	○	—	—	△	○	—
保護工情報	1のり面毎の1段毎の保護工種別毎	1段毎の保護工種別・数量や補修理由を示す。	○	○	—	△	△	○	—
排水施設情報	排水こうの種類毎	1段毎の排水こう種別、数量、ふた有無や補修理由を示す。	○	○	○	—	△	○	—
切土のり面特殊土工	特殊土工種別毎	特殊土工量を示す。	○	○	○	△	○	○	—

※ 記号の凡例 ○：データ作成 △：一部作成 —：作成無
 ※ 補修時の「有」「無」は、のり面形状及びブロック単位に変更が生じた場合を示す。

2. 切土のり面情報の作成方法

2-1 作成単位

対象とする切土のり面は、会社が管理する本線（連絡休憩等施設含む）の管理区域内を対象とする。また、会社が施工後に別機関へ移管等する区域外のものについても作成する。

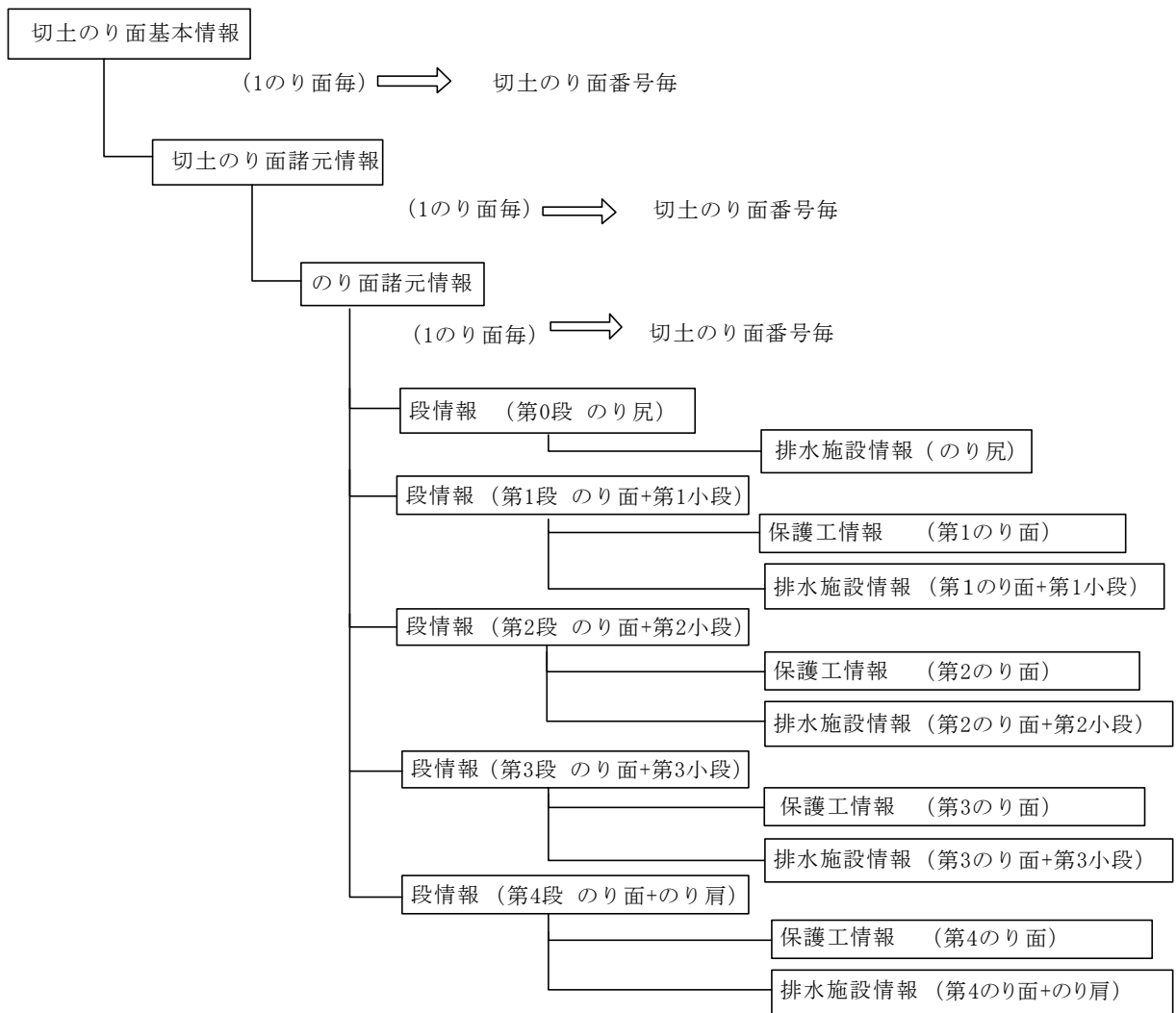
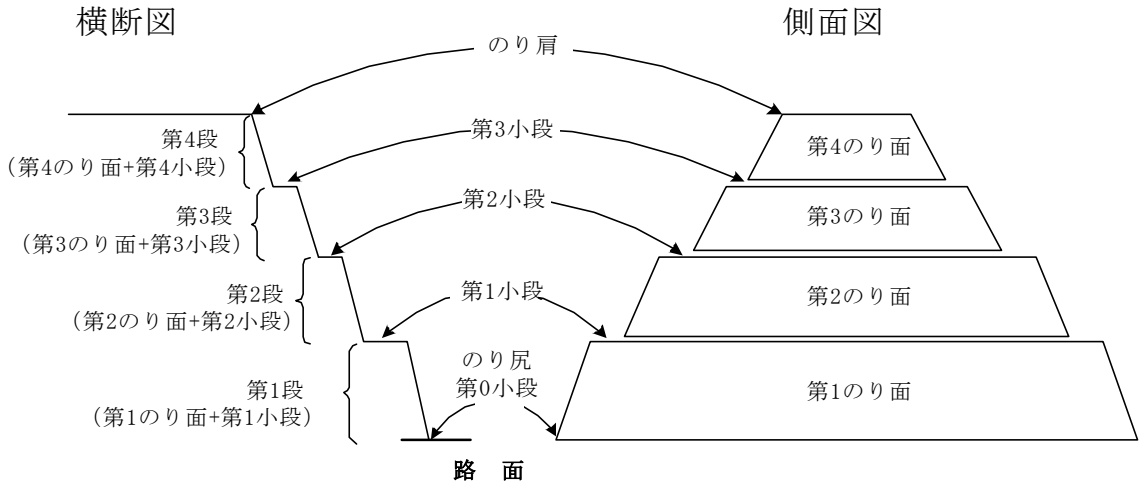
切土のり面の作成単位としては、切土のり面毎に作成する。

但し、段情報、保護工情報、排水施設情報は、切土のり面毎に存在する数だけデータ作成する必要がある。

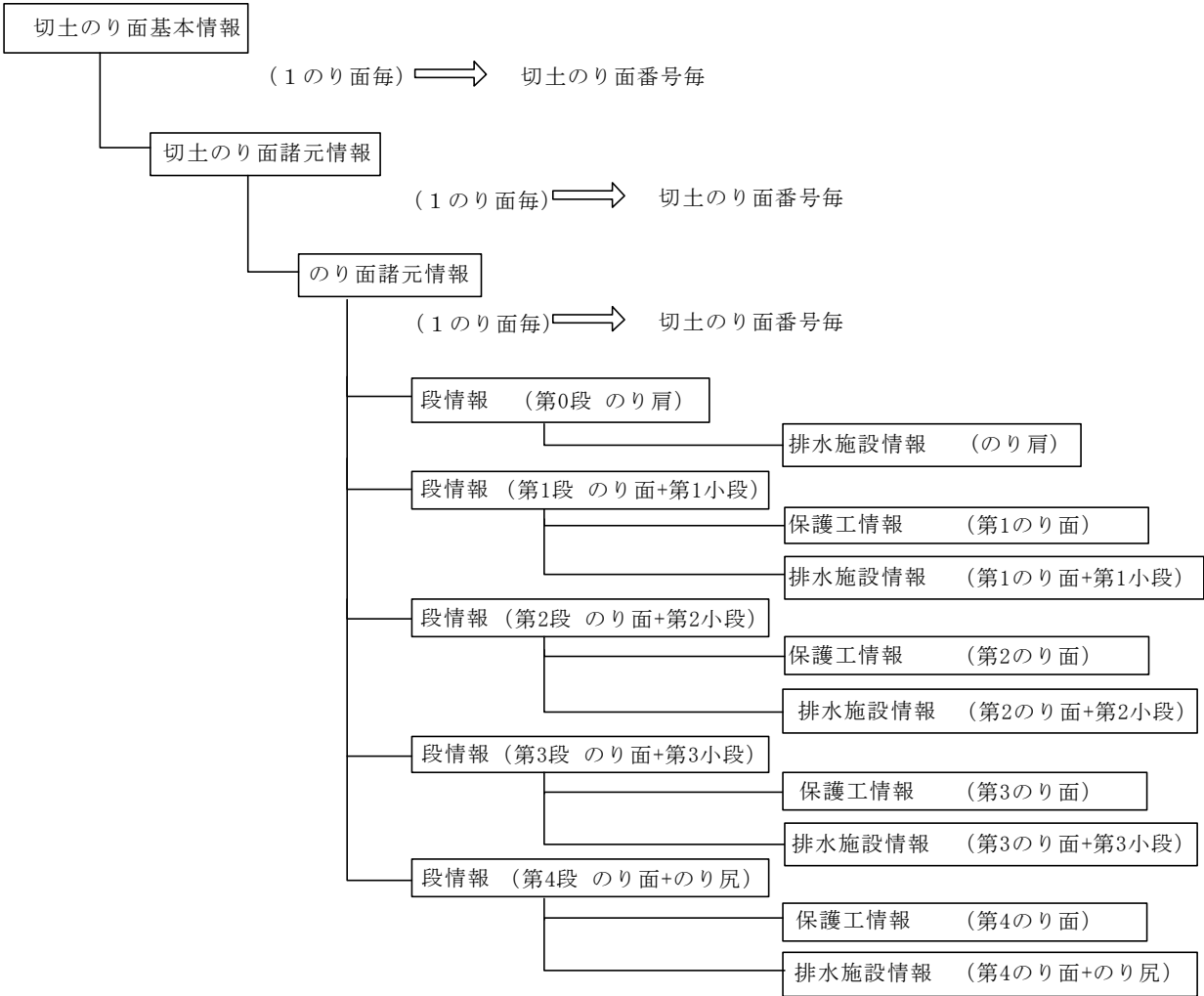
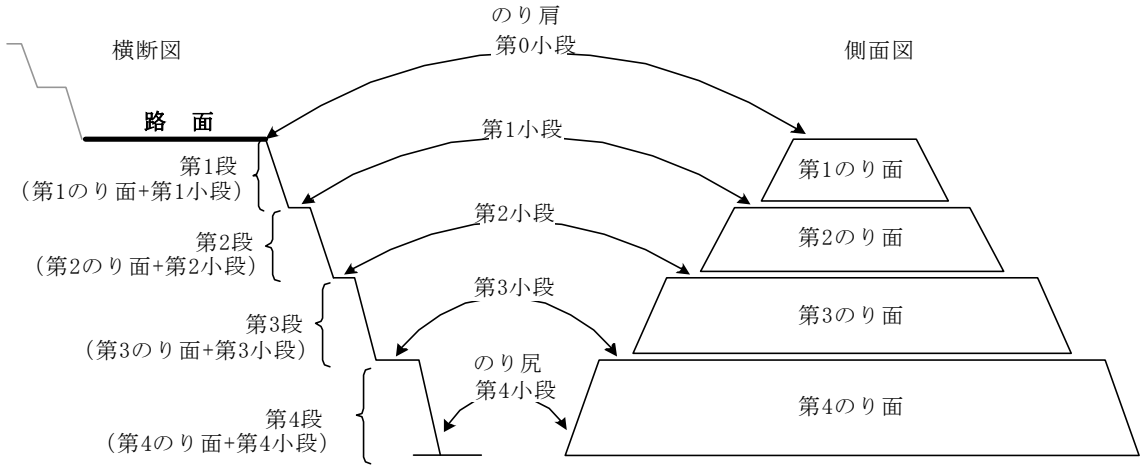
例えば、4段切土のり面の場合、「切土のり面基本情報」「切土のり面諸元情報」が1つに対して段情報を5つ（第0段情報を含む）作成し、その各々の段に対して「保護工情報」「排水施設情報」を存在する数だけ作成することである。

切土のり面が路面から見て上方にある場合と下方にある場合とで考え方が異なるため注意する必要がある。切土のり面（路面の上方にある場合）、切土のり面（路面の下方にある場合）を参考にすること。

切土のり面（路面の上方にある場合）



切土のり面 (路面の下方にある場合)



2-2 作成タイミング

切土のり面データを作成するタイミングは、「建設時」、「補修時（供用後管理段階）」の2つに大別される。

なお、工事記録収集システムへのデータ入力は、工事等の進捗に併せて適宜実施すること。

(1) 建設時

建設時でのデータ作成は、調査等及び各土工工事の進捗に併せて適宜データ作成を実施し、工事しゅん功時には完成させ提出する。完成データは、舗装工事に土工工事完了の資料として引き継がれる。

舗装工事において排水施設等が変更された場合は、工事の進捗に併せて適宜データの修正を行い、工事しゅん功時には完成させ提出する。

(2) 補修時

補修時（供用管理段階）においては、「のり面形状に変更が生じた場合、（切直しがある場合）」、「のり面形状に変更が無い場合、（切直しが無い場合）」で作成する項目数を把握し、工事の進捗に併せて適宜データを作成して、工事しゅん功時には完成させ提出する。

のり面復旧工事で従来切土のり面形式に変更が生じた場合は、切土のり面諸元情報、のり面諸元情報、保護工情報等についても情報作成を実施すること。

2-3 作成者

建設時におけるデータ作成者は、調査等及び土工工事の進捗に併せて各受注者が主体となる部分をデータ作成し、舗装段階で舗装工事受注者に引渡され、完成した時点で舗装工事分のデータ追加、修正（撤去等）を作成する。

補修時（供用後管理段階）においては、土工工事受注者がデータ作成する。

(1) 建設時

作成者	作成内容
監督員	工事内容とデータ内容・件数の確認をする。
調査等受注者	当該調査等に関するデータを作成する。
土工工事受注者	当該土工工事に関する全てのデータを作成する。
舗装工事受注者	当該舗装工事で実施した土工に関するデータを作成する。（排水施設情報の第0段の路面排水）

(2) 補修時

作成者	作成内容
監督員	工事内容とデータ内容・件数の確認をする。
土工工事受注者	当該土工工事に関する全てのデータを作成する。

第4編 切土のり面

2-4 作成内容

(1) 【削除】

(2) 工事情報

工事記録収集システムに入力する主なデータ項目は、以下のものがある。

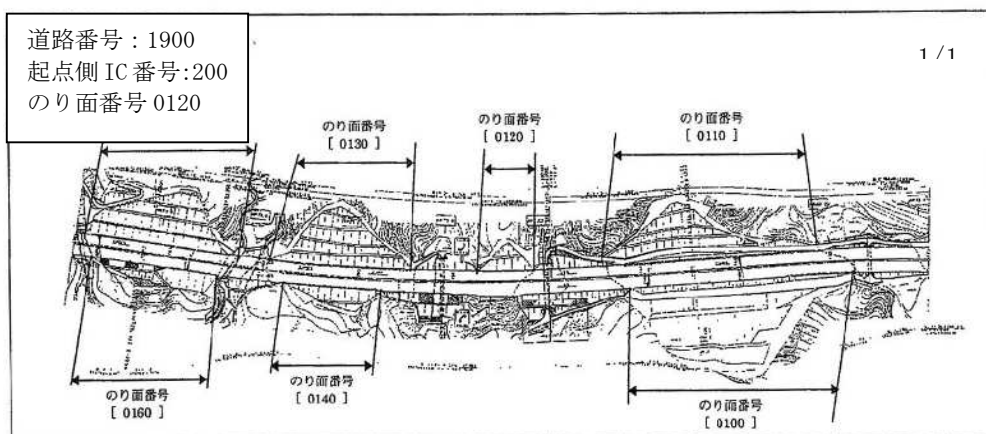
情報名	主な項目
切土のり面基本情報	道路名、IC名、のり面番号、上下線区分、ルート区分、完成暫定区分、測点、設置箇所、連絡等施設名、供用年月 他
のり面諸元情報	土地利用、隣接建築物 のり面延長、のり面総面積、総段数、平均のり面斜長、平均のり面勾配、 地すべり区分
段情報	設計区分 、段数、のり面高、小段幅、面積、小段シールの有無
保護工情報	設計区分 、保護工種別、単位、数量、製品名、メーカー名、のり面勾配、 補修理由
排水施設情報	設計区分、排水こう種別、契約単価項目、ふた有無、数量、単位、補修理由
切土のり面特殊土工	特殊土工種別、数量

ただし、工事情報の内容確認するために下表の資料について、必要に応じて 監督員に提出すること。

資料名	資料の概要
平面図	切土のり面の位置を示すもので、のり面番号を付与したもの。
保護工施工図	のり面番号と保護工位置を示したもの。
排水こう施工図	のり面番号毎に排水こう番号を付与し、排水こうの位置を示したもの。
横断図	のり面勾配、のり面斜長、直高を示したもの。
のり面完成図	切土のり面の施工完了時の状況を把握できる平面図, 横断図, 写真を添付する。
その他資料	当該切土のり面と将来管理する上で必要なもの。

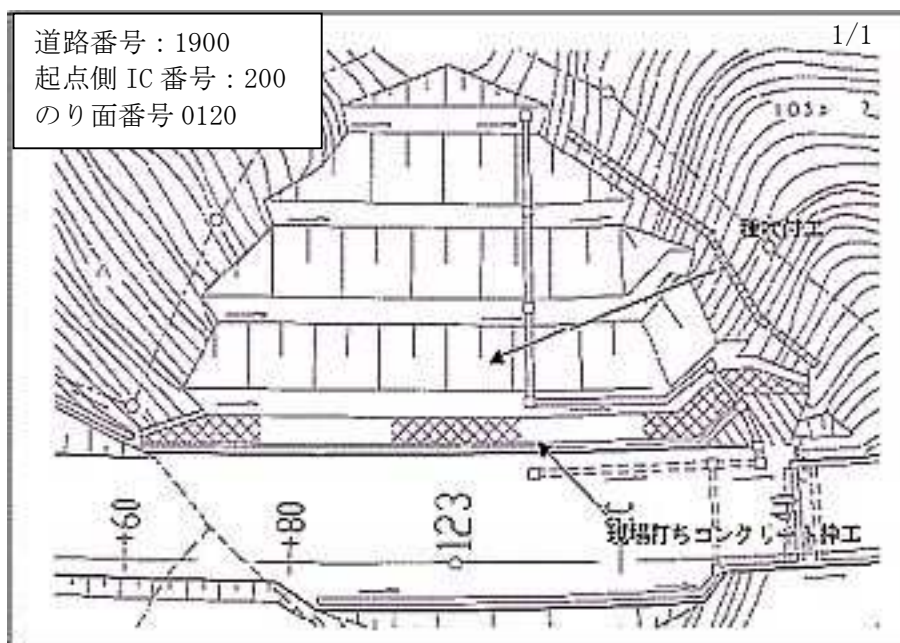
(3) 平面図作成方法

- (a) 1ブロックののり面番号を0010、0020、0030・・・と付与し、わかりやすく記入する。
- (b) 図面は、A3の縮小版とする。
- (c) 各図面に、道路番号、起点IC番号およびのり面番号を記入する。
- (d) 図面の右上に、各切土番号毎の枚数を「通し番号／全体枚数」で記入する。例) 同一の切土番号が2枚の平面図にまたがる場合は、[1/2]，[2/2]とする。



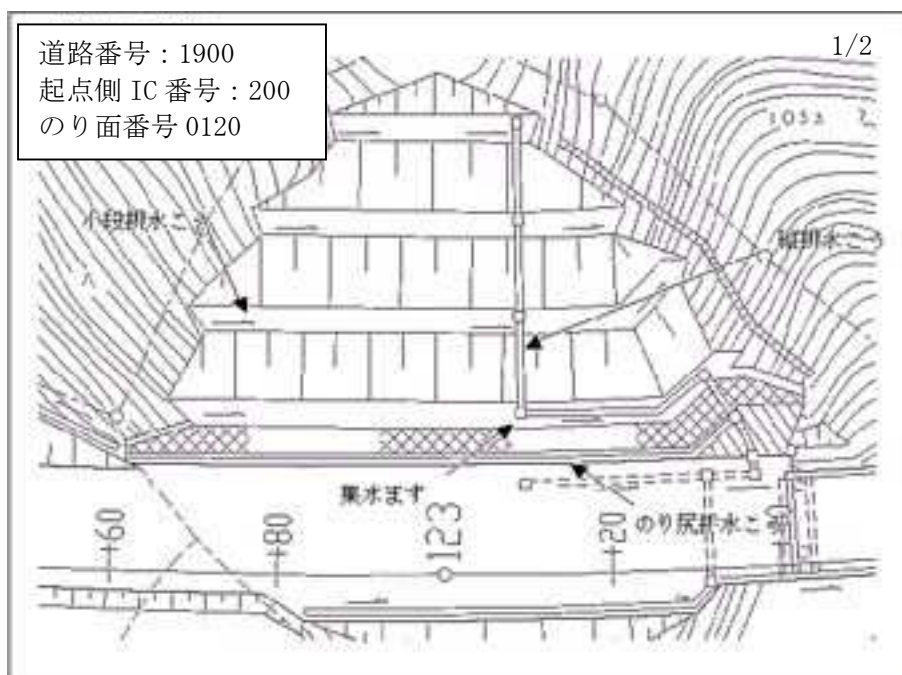
(4) 保護工施工図作成方法

- (a) 該当するのり面番号の平面図を拡大し、のり面番号の保護工施工図を作成する。
- (b) 保護工施工図は、保護工情報 (DOTBL007A) の施工状況および位置が分かるように記入する。
- (c) 図面のサイズは、A3版とする。
- (d) 各図面に、道路番号、起点 IC 番号およびのり面番号を記入する。
- (e) 図面の右上に、各切土のり面番号毎の枚数を「通し番号/全体枚数」で記入する。



(5) 排水こう施工図の作成方法

- (a) 該当するのり面番号の平面図を拡大し、のり面番号の排水こう施工図を作成する。
- (b) 排水こう施工図は、排水施設情報 (DOTBL009A) の排水こう番号の位置が区別できるように記入する。
- (c) 原則として排水ますで区別する。
- (d) 図面は、A3 とする。
- (e) 各図面に、道路番号、起点 IC 番号およびのり面番号を記入する。
- (f) 図面の右上に、各切土のり面番号毎の枚数を「通し番号／全体枚数」で記入する。



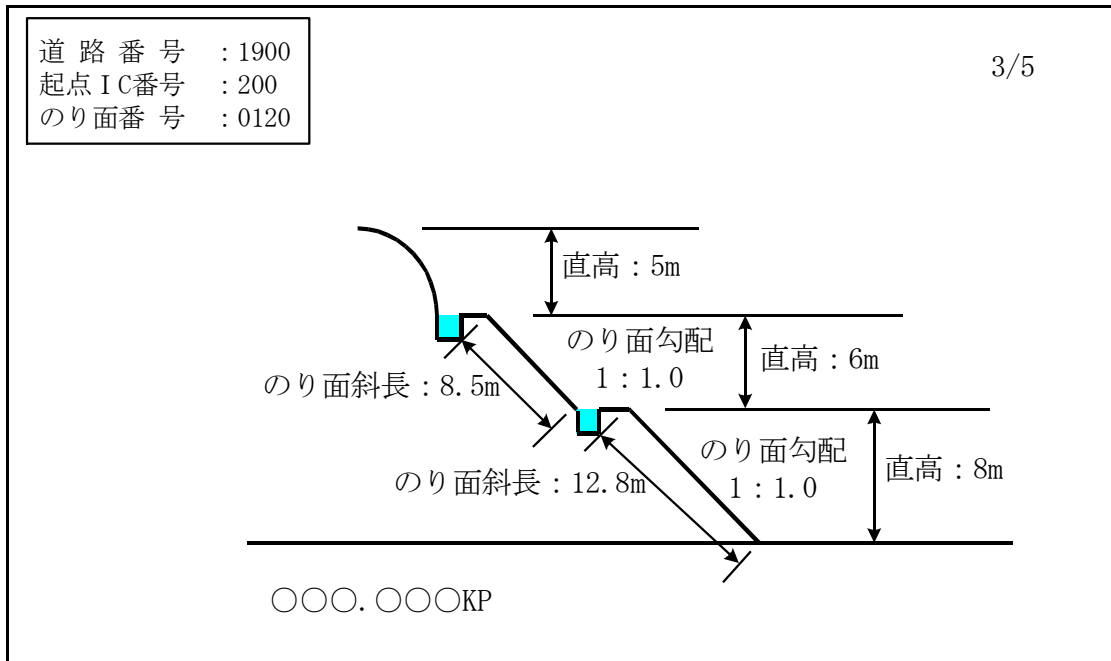
第4編 切土のり面

(6) 横断図の作成方法

横断図は、のり面勾配、のり面斜長、直高を明示する。

- (a) 各断面毎に STA・KP・NO を記入する。
- (b) のり直高の最大場所のみ、各段ののり直高を記入する。
- (c) 図面サイズは、A3 版とする。
- (d) 各図面に、道路番号、起点 IC 番号およびのり面番号を記入する。
- (e) 図面の右上に、各切土のり面番号毎の枚数を「通し番号／全体枚数」で記入する。

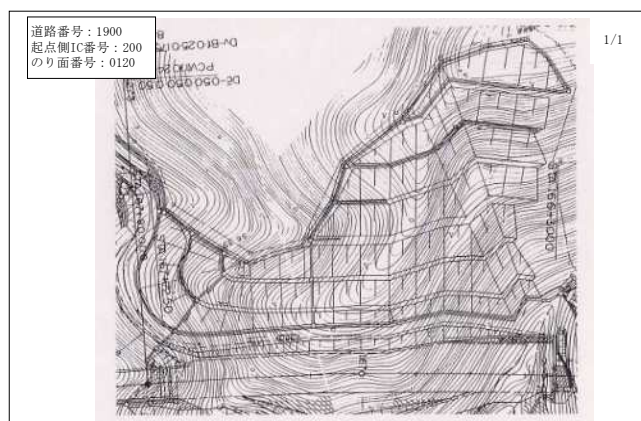
《最大のり直高の記入例》



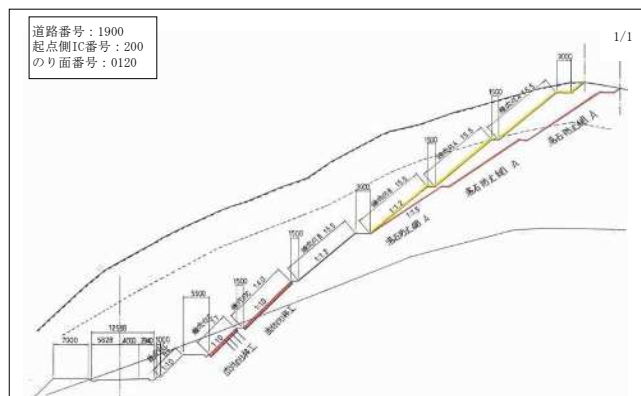
(7) のり面完成図の作成方法

のり面完成図は、切土のり面の施工完了時の状況を把握できるものとし、作成の際は道路番号、起点 IC、切土のり面番号を記入し、右上に切土のり面番号毎に「通し番号／全体枚数」を記入する。

- (a) のり面の状況が分かるような写真を添付する。(複数枚数可)
- (b) 完成図を添付する。(赤黄図面)
- (c) のり面の状況が分かる完成写真を貼り付ける。
- (d) 排水系統図がわかる図面を貼り付ける。
- (e) のり面規模に応じて、必要枚数分シートを追加。



完成平面図



完成断面図 (赤黄図)



完成写真

第4編 切土のり面

(8) その他資料

(a) 将来切土のり面を管理する上で、必要と思われる資料を添付する。

例) 施工管理要領基準集{植生のり面工施工管理要領}

(ア) のり面調査表

(イ) 土壌硬度試験表 (試験様式-601)

(ウ) 土の PH 試験表 (試験様式-602)

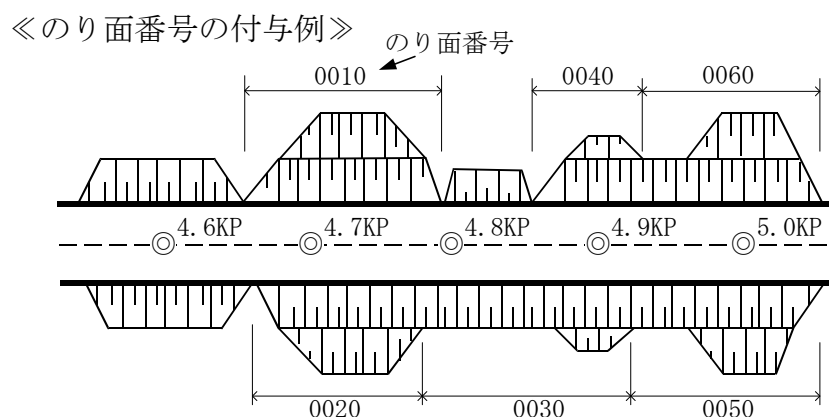
3. 切土のり面情報の作成定義

3-1 基本定義

基本定義では、切土のり面データ作成の基本となるのり面番号・保護工番号・排水施設番号の付与方法について示すものである。

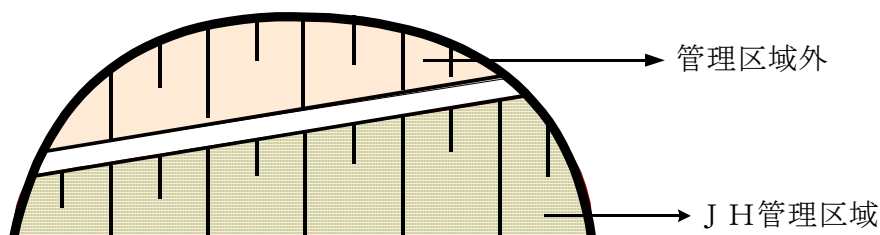
3-1-1 切土のり面番号の付与方法

- (1) 対象とする切土のり面は、本線・IC・SA・PA等に存在するすべての切土のり面であり、IC区間単位で1のり面毎に起点側から順番番号を付けるものとする。
- (2) 切土のり面番号は、事務所内で調整し重複しないようにする。
- (3) 切土のり面番号の付け方は、1番目の切土のり面から0010、0020、0030・・・とし下1桁は崩壊等で分割された場合の枝番として利用する。



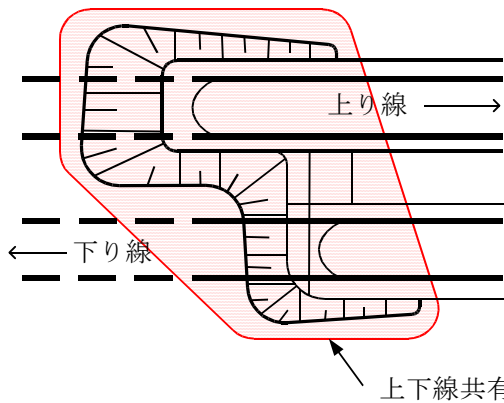
(4) 切土のり面ブロック定義

- (a) 原則として、のり面の切盛境から切盛境を1ブロックとする。
- (b) のり面が連続している複合斜面（等高線が小刻みに波打っているのり面）では、のり小段が比較的大きく変化する区間を1ブロックとする。
- (c) 下図のように、会社の管理区域と管理区域外が1山に存在する場合は、1のり面として作成する。

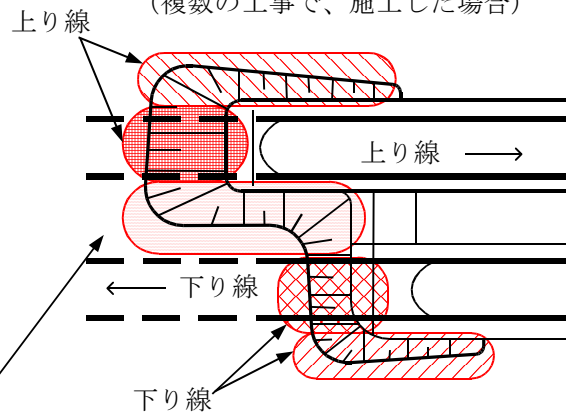


- (d) IC・JCT, SA・PA・CBは、テーパ一端からテーパ一端を本線と区別する。
- (e) BS, TBは本線の切土のり面として扱う。
- (f) ランプ部等の複雑な形のり面については、ある程度割り切って1ブロックとし、1IC間でユニーク（重複しない）となるようにのり面番号を付ける。
- (g) トンネル坑口等、上記の定義等に当てはまらない場合は、切土のり面を管理しやすい方法でのり面番号を付与する。

例1) 下図のり面を、1つのり面とする。
(1工事で、施工した場合)

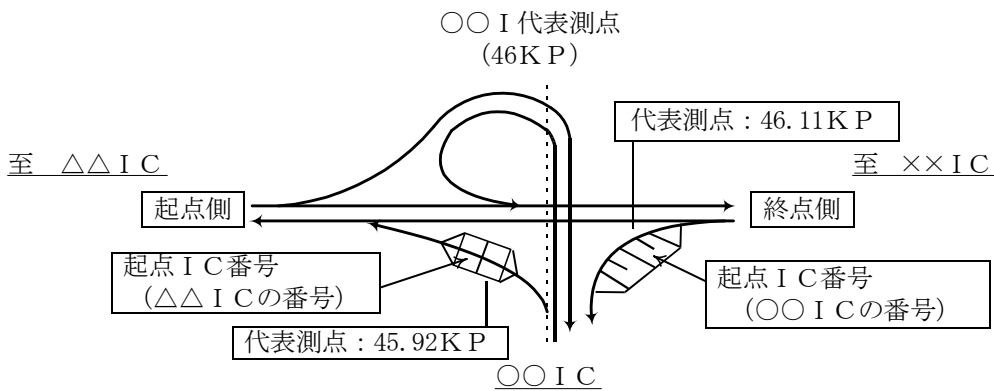


例2) 下図のり面を複数のり面とする。
(複数の工事で、施工した場合)



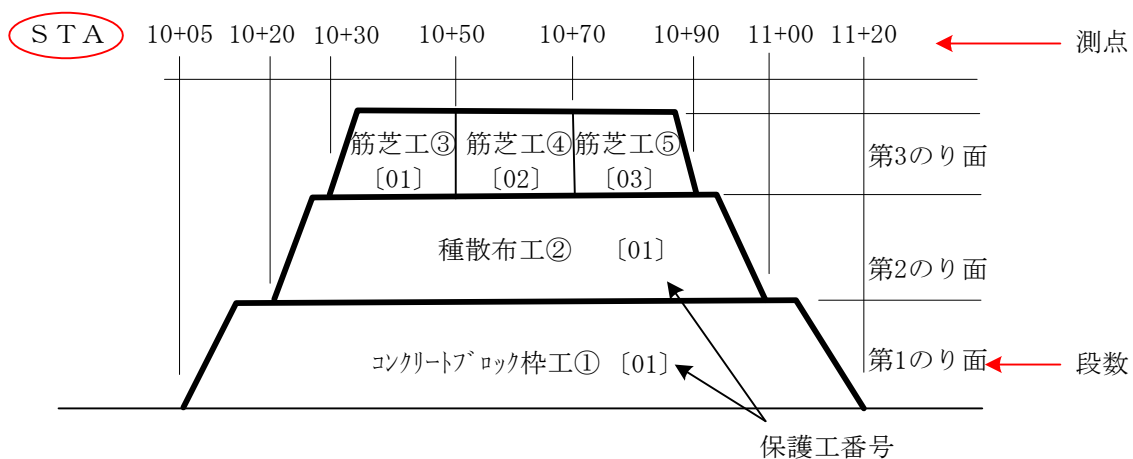
- (h) IC部に切土のり面が存在する場合
 - (ア) 切土のり面代表測点（中心 KP）が、IC 代表測点より起点側の場合は、起点 IC の連番となるのり面番号を付与する。
 - (イ) 切土のり面の代表測点（中心 KP）が、IC 代表測点より終点側の場合は、終点側 IC の連番となるのり面番号を付与する。

I C部に切土のり面が存在する場合



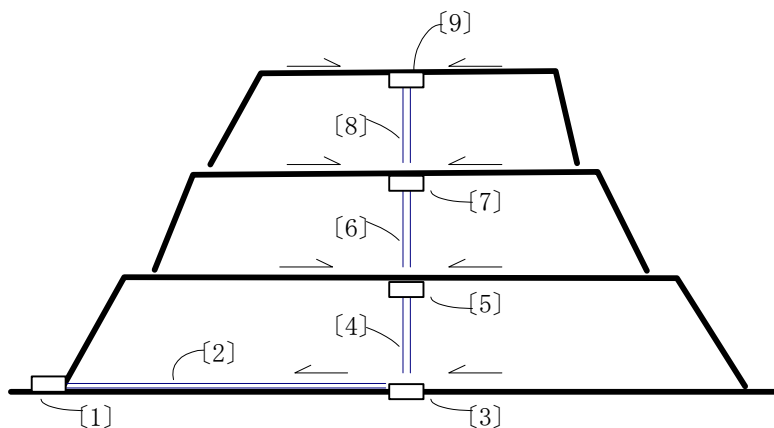
3-1-2 保護工番号の付与方法

- (1) 保護工番号は、各段ののり面で施工した保護工の工種別毎に、2桁までの数字で付与する。
- (2) 保護工番号は、段毎に初期値を1番から付与する。



3-1-3 排水施設番号の付与方法

- (1) 排水施設番号は、各のり面番号毎に3桁までの数字で付与する。
- (2) 排水施設番号は、のり面番号内で全段の排水施設を通番とする。(0段目からの最上段まで通番とする。)



3-2 【削除】基本資料情報

3-2-1 【削除】基本資料情報の作成

3-2-2 【削除】添付ファイルの命名規則

3-2-3 【削除】添付ファイルの作成規則

3-2-4 【削除】平面図

3-2-5 【削除】保護工施工図

3-2-6 【削除】排水こう施工図

3-2-7 【削除】横断図

3-2-8 【削除】地質図

3-2-9 【削除】周辺土地情報図

3-2-10 【削除】のり面スケッチ

3-2-11 【削除】のり面完成図

3-2-12 【削除】対策工状況図

3-2-13 【削除】切土崩壊状況図

3-2-14 【削除】動態観測状況図

3-2-15 【削除】その他資料

3-3 工事情報

工事で実施した切土のり面に関するデータを工事記録収集システムに入力するものである。

3-3-1 切土のり面基本情報

切土のり面毎の所在地を入力するものである。

(1) 支社局

当該切土のり面を管理する支社局名をコードから選択して入力する。

建設時で管理する支社局名が未定の場合は、建設工事を担当する支社局名を入力する。

(2) 事務所

当該切土のり面を管理する事務所名をコードから選択して入力する。

建設時で管理事務所名が未定な場合は、工事事務所名を入力する。

(3) 道路

当該切土のり面が存在する道路の道路名をコードから選択して入力する。

(4) IC (自)

当該切土のり面が存在する1IC区間の起点側ICをコードから選択して入力する。当該切土のり面がIC部に存在する場合の起点IC番号の考え方は「3-1-1 基本定義 IC部に切土のり面が存在する場合」を参照のこと。

(5) IC (至)

当該切土のり面が存在するIC区間の終点側ICをコードから選択し入力する。

(6) のり面番号

切土のり面毎に、ユニーク（重複しない）となる番号を付与する。

のり面番号の付与方法は、「3-1-1 基本定義 切土のり面番号の付与方法」を参照のこと。

(7) 上下線区分

当該切土のり面が存在する現在の上下線区分を該当するコードから選択して入力する。但し、以下の場合を補足する。

(a) トンネル坑口やセパレート区間の中分のり面については、「上下線共有」とする。

(b) 左右ルートが、セパレートする区間における中分については、「上下線共有」とする。

(c) ランプ部及びSA・PAのり面については、「上下線無関係」とする。

第4編 切土のり面

(8) ルート区分

当該切土のり面が、存在する現在のルート区分を該当するコードから選択して入力する。

(9) 完成暫定区分

当該切土のり面が、存在する道路供用時の完成暫定区分を該当するコードから選択し入力する。

(10) STA・KP・NOの測点作成方法

切土のり面の測点は、当該切土のり面の位置を高速道路の測点で示すものである。測点方法は、本線（車道部）路肩に接するのり尻（のり肩）の端部を示す。

建設時と補修時（供用後管理段階）では、測点の単位に相違があるため、測点の作成方法について以下に示すものである。

(a) 建設時

建設時の測点は、STAを用いるものとするが、KPがわかる場合は、管理_KP及び管理_Noについても作成する。加えて、当該路線のKP換算表を入手し「基本資料情報」に添付し提出するものとする。

(ア) 建設_STA（自）

1ブロックの起点側の測点を入力する。

(イ) 建設_STA（至）

1ブロックの終点側の測点を入力する。

(ウ) 建設_ランプ

当該切土のり面が存在するランプ名称をA, B, C, D……で入力する。

(エ) 建設_No（自）

当該切土のり面が存在するランプの起点側の測点を入力する。

(オ) 建設_No（至）

当該切土のり面が存在するランプの終点側の測点を入力する。

(b) 補修時（供用後管理段階）

補修時の測点は、KPを用いるものとする。

(ア) 管理_KP（自）

切土のり面の起点側の測点を入力する。

(イ) 管理_KP（至）

切土のり面の終点側の測点を入力する。

(ウ) 管理_ランプ

当該切土のり面が存在するランプ名称をA, B, C, D……で入力する。

(エ) 管理_No (自)

当該切土のり面が存在するランプの起点側の測点を入力する。

(オ) 管理_No (至)

当該切土のり面が存在するランプの終点側の測点を入力する。

※2022/04/01 より入力不要

~~(11) 建設_支社局~~

~~当該切土のり面を建設工事した支社・局名をコードから選択し入力する。~~

~~(12) 建設_工事事務所~~

~~当該切土のり面を建設工事した事務所名をコードから選択し入力する。~~

(13) 設置箇所

当該切土のり面が、存在する箇所区分をコードから選択し入力する。(本線、IC、SA 等)

(14) 連絡等施設

当該切土のり面が、IC・JCT に存在する場合の IC・JCT 番号をコードから選択し入力する。

(15) 休憩施設

当該切土のり面が、SA・PA・BS・CB に存在する場合の休憩施設等番号をコードから選択し入力する。

(16) 供用年月日

その構造物が実際に使用開始となる年月日を入力する。

建設時において予定日を入力する。未定の場合は、未入力とする。

3-3-2 【削除】切土のり面基本情報資料

3-3-3 のり面諸元情報

各のり面全体に関する諸元データを入力するものである。

(1) 支社局

「3-3-1. 切土のり面基本情報 (1) 支社局」で示した支社局名と関連するものをコードより選択し入力する。

(2) 事務所

「3-3-1. 切土のり面基本情報 (2) 事務所」で示した事務所名と関連するものをコードより選択し入力する。

(3) 道路

「3-3-1. 切土のり面基本情報 (3) 道路」で示した道路名と関連するものをコードより選択し入力する。

(4) IC (自)

「3-3-1. 切土のり面基本情報 (4) IC (自)」で示した IC (自) と関連するものをコードより選択し入力する。

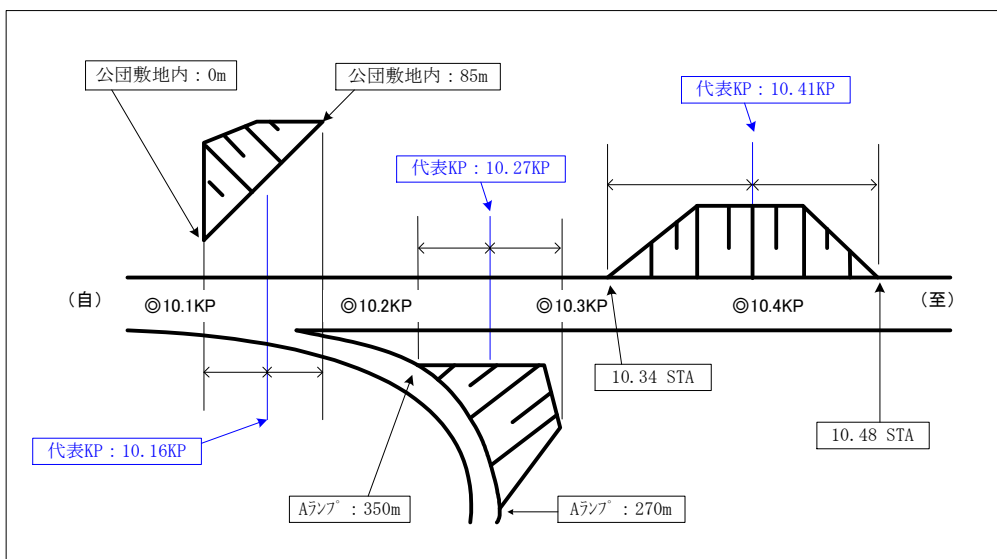
(5) のり面番号

「3-3-1. 切土のり面基本情報 (6) のり面番号」で示したのり面番号と関連するものを入力する。

(6) 代表 STA

1 ブロックの切土のり面（原則として、切盛境～切盛境）の起点側と終点側の間地点（STA）を入力する。

- (a) 本線に隣接する切土のり面については、のり面番号で区切った切盛境の測点の中心測点をとる。
- (b) IC 等のランプ部に隣接する切土のり面については、下図のように、ランプ測点とは関係なく、本線隣接の切土としてみたときの中心測点をとる。



(7) 代表 KP

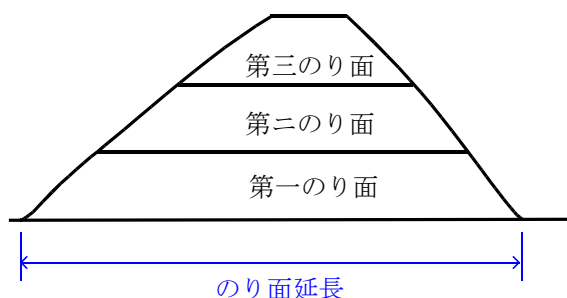
1 ブロックの切土のり面（原則として、切盛境～切盛境）の起点側と終点側の間地点（KP）を入力する。

(8) 位置

当該切土のり面の進行方向に対しての位置を該当するコードから選択し入力する。但し、本線・ランプ部に隣接しない場合には、「区分なし」を選択する。

(9) 延長

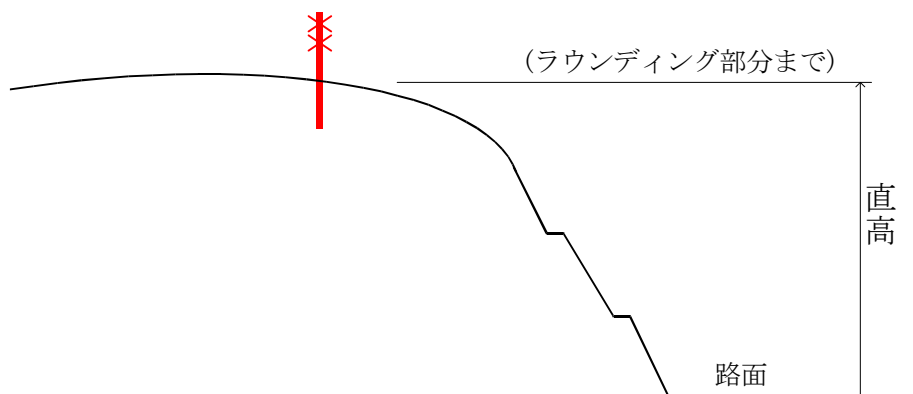
当該切土のり面の本線に隣接する直近（第1のり面）の延長(m)を入力する。



第4編 切土のり面

(10) 直高

当該切土のり面の道路上からの最大直高 (m) を入力する。



(11) 面積

当該切土のり面における小段面積を含まないのり面の総面積(m²) (各段ののり面面積を合計したもの) を入力する。

(12) 段数

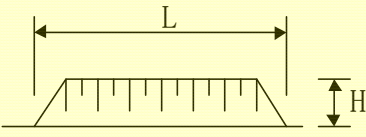
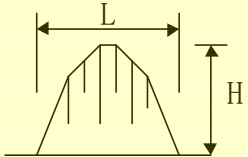
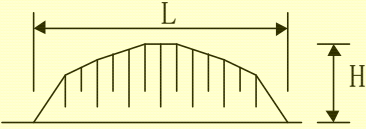
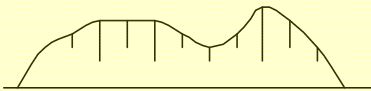

当該切土のり面の最上段を入力する。(舗装路面から小段までを第1小段とし順次上方へ山頂までの総段数)

※2022/04/01 より入力不要

~~(13) のり面の形~~

~~当該切土のり面の形を該当するコードから選択し入力する。~~

※2022/04/01 より参照不要

内容	適用	
台地型	Hに対してLが充分大きく、かつのり肩線がほとんどフラットなもの、典型的な台地地形の切土はL/Hの比が小さくてもこれに属させる	
山岳型	L/H=1程度以下の切土のり面	
中間型	単一形の切土のり面でかつ台地形及び山岳地以外のもの	
谷型	1ヶ所の明瞭な凹部をもつ切土のり面で、かつ台地形及び山岳地以外のもの	
複合谷型	2ヶ所以上の明瞭な凹部をもつ切土のり面で、かつ台地形及び山岳地以外のもの	

(14) 平均のり面斜長

当該切土のり面ののり面総面積をのり面延長で割った値を入力する。

平均のり面斜長=のり面の総面積÷のり面延長

(15) 平均のり面勾配

当該切土のり面の各段ののり面勾配の平均を入力する。

平均のり面勾配= (第1のり面勾配+第2のり面勾配+...) ÷のり面段数

※2022/04/01 より入力不要

~~(16) 切土開始年月日~~

~~当該切土のり面の施工を開始した年月日を西暦で入力する。(2002/03/31)~~

~~(17) 切土終了年月日~~

~~当該切土のり面の施工を終了した年月日を西暦で入力する。(2002/03/31)~~

~~(18) 完成年月日~~

~~当該切土のり面が保護工を含めて完成した年月日を西暦で入力する。(2002/03/31)~~

※2022/04/01 より入力不要

~~(19) 対策検討時の留意事項~~

~~当該切土のり面を施工するにあたり、事前対策検討時に留意した事項（特筆すべき事項）を250文字以内で入力する。~~

~~(20) 施工の概要~~

~~当該切土のり面の施工概要を250文字以内で入力する。~~

~~(21) 地区名~~

~~当該切土のり面が存在する地区名（〇〇県××地区）を20文字以内で入力する。~~

~~(22) 地すべり区分~~

~~当該切土のり面の地質について、「地すべり」か「それ以外」をコードより選択し入力する。~~

(23) 契約番号

当該切土のり面工事の工事契約番号を入力する。

※2022/04/01 より入力不要

~~(24) 委員会等~~

~~当該のり面に係る委員会を実施した場合、委員会名を30文字以内で入力する。（最大4つまで）~~

(25) 備考

切土のり面基本情報について関連する情報があれば200文字以内で入力する。

3-3-4 【削除】地形・地質情報

3-3-5 【削除】周辺土地情報

3-3-6 【削除】管理重要度情報

3-3-7 段情報

各段に存在するのり面と小段に関するデータを入力するものである。

なお、「3-3-3. のり面諸元情報 (22) 地すべり区分」でコードより「地すべり」を選択した場合は、以下の項目について「地質_基盤層_〇〇」「地質_移動層_〇〇」の両方をデータ入力する。「それ以外」を選択した場合は、「地質_基盤層_〇〇」に現状をデータ入力する。

(1) 支社局

「3-3-1. 切土のり面基本情報 (1) 支社局」で示した支社局名と関連するものをコードより選択し入力する。

(2) 事務所

「3-3-1. 切土のり面基本情報 (2) 事務所」で示した事務所名と関連するものをコードより選択し入力する。

(3) 道路

「3-3-1. 切土のり面基本情報 (3) 道路」で示した道路名と関連するものをコードより選択し入力する。

(4) IC (自)

「3-3-1. 切土のり面基本情報 (4) IC (自)」で示した IC (自) と関連するものをコードより選択し入力する。

(5) のり面番号

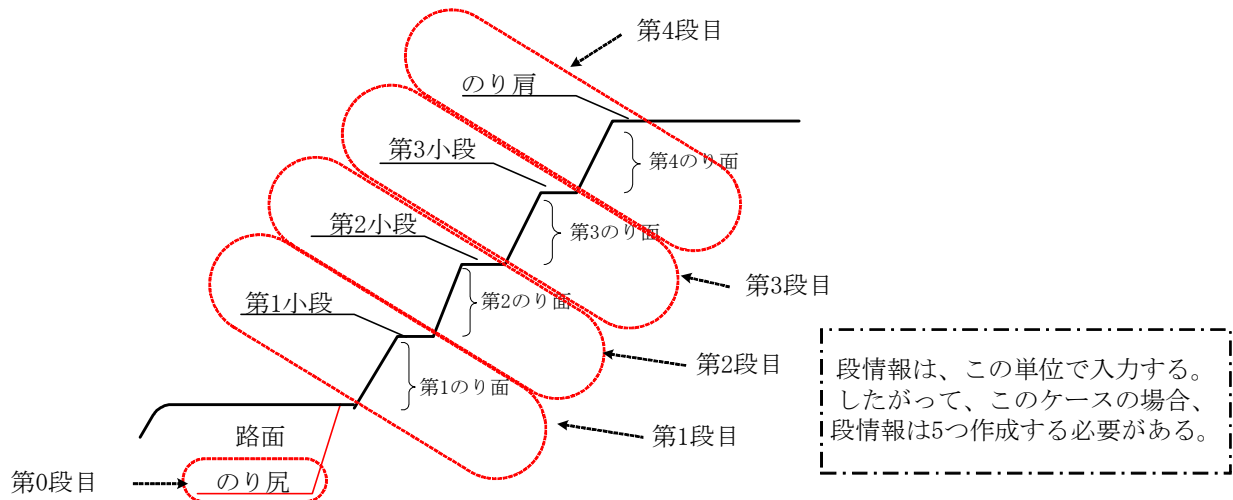
「3-3-1. 切土のり面基本情報 (6) のり面番号」で示したのり面番号と関連するものを入力する。

(6) 段

当該段情報で作成する第 n 段（第 n のり面・第 n 小段）を示す。

なお、のり面および小段の定義は以下のとおりとする。

- (a) 第 1 のり面とは、路面に続くのり面で第 1 小段で区切られるまでをいう。
- (b) のり面中の側道も小段として扱う。
- (c) 第 0 段目(のり尻)の「段情報」は、「排水施設情報」で路面排水についてデータ入力するために作成する。



※2022/04/01 より入力不要

~~(7) 設計区分~~

~~当該データの入力内容が、「当初設計」か「変更設計」かをコードより選択し入力する。
工事による最終形をデータ入力する場合は、「変更設計」を選択すること。~~

(8) STA・KP・NO の測点作成方法

切土のり面の測点方法は、当該切土のり面の 1 ブロックの位置を高速道路の測点で示すものである。

建設時と補修時（供用後管理段階）では、測点の単位に相違があるため、測点の作成方法について以下に示すものである。

(a) 建設時

建設時の測点は、STA を用いるものとするが、KP がわかる場合は、管理_KP 及び管理_No についても作成する。加えて、当該路線の KP 換算表を入手し「基本資料情報」に添付し提出するものとする。

(ア) 建設_STA（自）

第 n 段の起点側の測点を入力する。

(イ) 建設_STA（至）

第 n 段の終点側の測点を入力する。

- (ウ) 建設_ランプ
第n段が存在するランプ名称を A, B, C, D.....で入力する。
- (エ) 建設_No (自)
第n段が存在するランプの起点側の測点を入力する。
- (オ) 建設_No (至)
第n段が存在するランプの終点側の測点を入力する。

(b) 補修時 (供用後管理段階)

補修時の測点は、KP を用いるものとする。

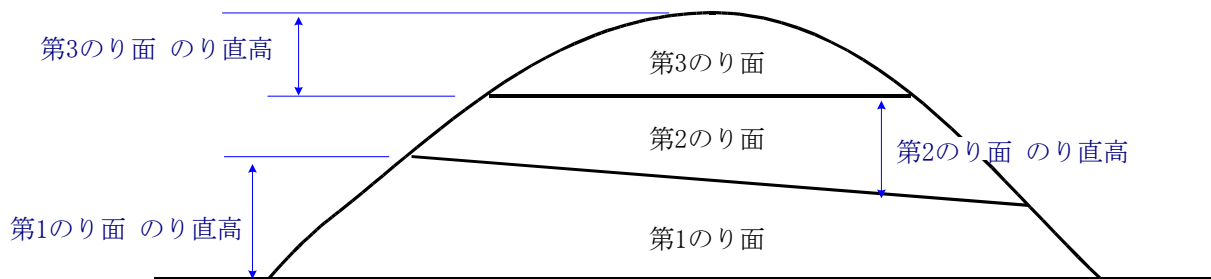
- (ア) 管理_KP (自)
第n段の起点側の測点を入力する。
- (イ) 管理_KP (至)
第n段の終点側の測点を入力する。
- (ウ) 管理_ランプ
第n段が存在するランプ名称を A, B, C, D.....で入力する。
- (エ) 管理_No (自)
第n段が存在するランプの起点側の測点を入力する。
- (オ) 管理_No (至)
第n段が存在するランプの終点側の測点を入力する。

(9) のり直高

当該切土のり面 (第nのり面) ののり面1段毎ののり直高最大値 (m) を入力する。

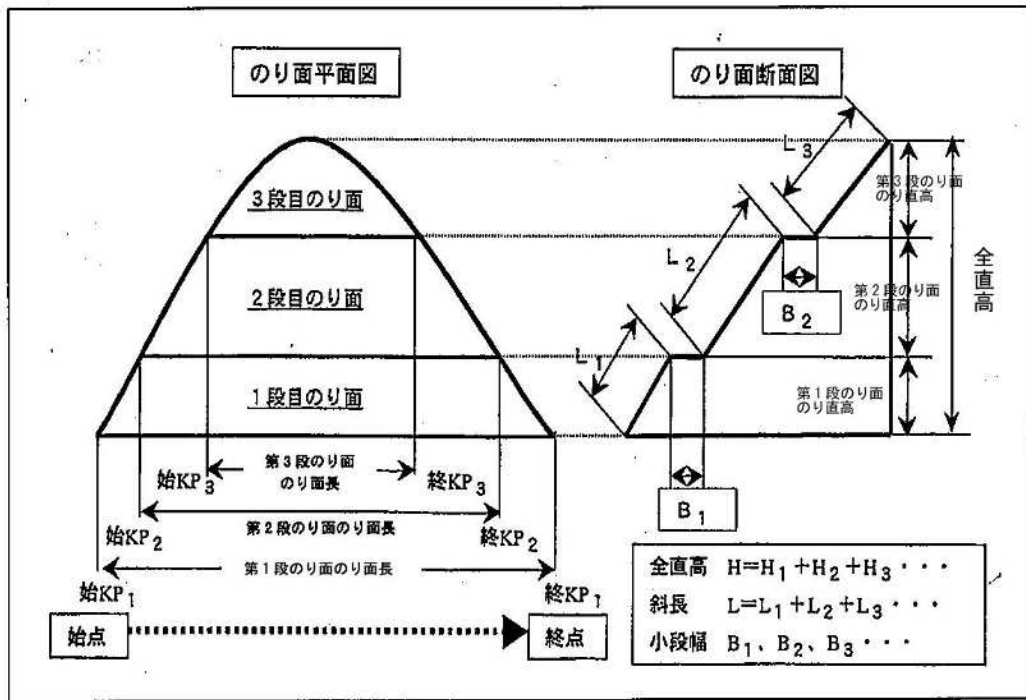
のり直高入力に関しては以下のとおりとする。

- (a) 路面および小段から小段までの高さとする。
- (b) 同一のり面でのり直高が変わる場合は、最大値とする。
- (c) 第0段目は、入力不要とする。



(10) のり面長

当該切土のり面（第nのり面）ののり面1段毎ののり面長（m）を入力する。



(11) 面積

当該切土のり面（第nのり面）ののり面1段毎の面積（m²）を入力する。但し、小段面積を含めないこととする。第0段目は、入力不要とする。

(12) 小段幅

当該切土のり面（第n小段）の小段毎の最小値の小段幅（m）を入力する。

但し、のり面内の側道は小段として扱い、最上段に小段が無い場合の小段幅は「0m」とする。第0段目の場合は、保護路肩の幅を入力する。

(13) 小段シールの有無

当該切土のり面（第n小段）における小段毎のシール有無をコードより選択し入力する。

第0段目の場合は、保護路肩を対象とする。

※2022/04/01 より入力不要

~~(14) 側道利用の有無~~

~~当該切土のり面の第n小段を側道として利用しているかどうかの有無をコードから選択し入力する。~~

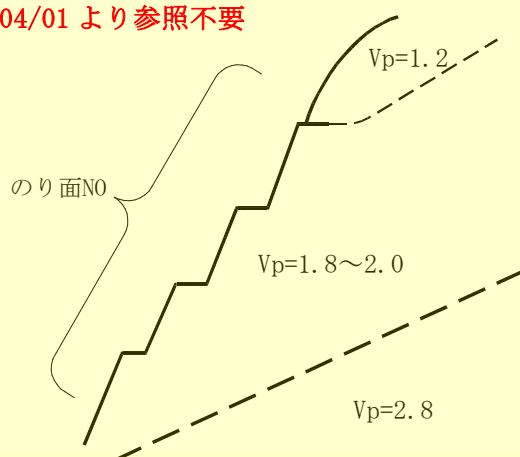
~~第0段目は、入力不要とする。~~

※2022/04/01 より入力不要

~~(15) 弾性波速度~~

~~当該切土のり面（第nのり面）の調査時点における代表的な値（km/sec）を入力する。
弾性波速度の数値が無い切土のり面（第nのり面）については「0.82」km/secとする。
なお、入力に際しては、下図のとおりとする。第0段目は、入力不要とする。~~

※2022/04/01 より参照不要



のり面NO	弾性波速度 (Vp)
5	1.2
4	} (1.8~2.0) ≒1.9
3	
2	
1	

※2022/04/01 より入力不要

~~(16) 地質_基盤層_風化~~

~~当該項目は、「3-3-3.のり面諸元情報 (22) 地すべり区分」でコードより「地すべり」を選択した場合は基盤層・移動層のうち基盤層についてデータ入力する。「それ以外」を選択した場合は、現状の地層についてデータ入力する。~~

~~当該切土のり面（第nのり面）の風化度合を該当するコードから選択し入力する。風化の度合については以下のとおりとする。第0段目は、入力不要とする。~~

※2022/04/01 より参照不要

コード名称	内 容
新鮮	新鮮なもの。
きれつ風化	きれつ面が風化して褐色を呈し風化粘土を挟在しているもの。
弱風化	きれつ面より内部に風化が進行し新鮮部に対する比率が50%以下のもの。
強風化	大部分が風化し未風化部を礫状に挟在する新鮮部が50%以下のもの。
風化土	完全に風化し土砂化したもの。原岩の構造は残しているもの。

※2022/04/01 より入力不要

~~(17) 地質_移動層_風化~~

~~当該項目は、「3-3-3.のり面諸元情報 (22) 地すべり区分」でコードより「地すべり」を選択した場合のみデータ入力する。~~

~~当該切土のり面（第nのり面）の風化度合を該当するコードから選択し入力する。~~

※2022/04/01 より入力不要

~~(18) きれつ~~

~~当該切土のり面（第nのり面）のきれつ部の状態を該当するコードから選択し入力する。きれつ部の状態については以下のとおりとする。第0段目は、入力不要とする。~~

※2022/04/01 より参照不要

コード名称	内 容
開口部	きれつがゆるみ開口しているもの。
密着	きれつ部が密着しているもの。
粘土挟在	開口したきれつに砂、粘土等が挟在されているもの。

※2022/04/01 より入力不要

~~(19) 土壌硬度~~

~~実測値 (kg/cm²) を入力する。~~

~~(20) 土壌 PH~~

~~実測値を入力する。~~

(21) 【削除】

3-3-8 【削除】 建設時対策検討情報

3-3-9 保護工情報

各段に存在する保護工に関するデータを入力するものである。

なお、「3-3-3. のり面諸元情報 (22) 地すべり区分」でコードより「地すべり」を選択した場合は、以下の項目について「地質_基盤層_〇〇」「地質_移動層_〇〇」の両方をデータ入力する。「それ以外」を選択した場合は、「地質_基盤層_〇〇」のみデータ入力する。

(1) 支社局

「3-3-1. 切土のり面基本情報 (1) 支社局」で示した支社局名と関連するものをコードより選択し入力する。

(2) 事務所

「3-3-1. 切土のり面基本情報 (2) 事務所」で示した事務所名と関連するものをコードより選択し入力する。

(3) 道路

「3-3-1. 切土のり面基本情報 (3) 道路」で示した道路名と関連するものをコードより選択し入力する。

(4) IC (自)

「3-3-1. 切土のり面基本情報 (4) IC (自)」で示した IC (自) と関連するものをコードより選択し入力する。

(5) のり面番号

「3-3-1. 切土のり面基本情報 (6) のり面番号」で示したのり面番号と関連するものを入力する。

(6) 段

当該保護工が、存在するのり面を第 n 段 (第 n のり面・第 n 小段) で示す。

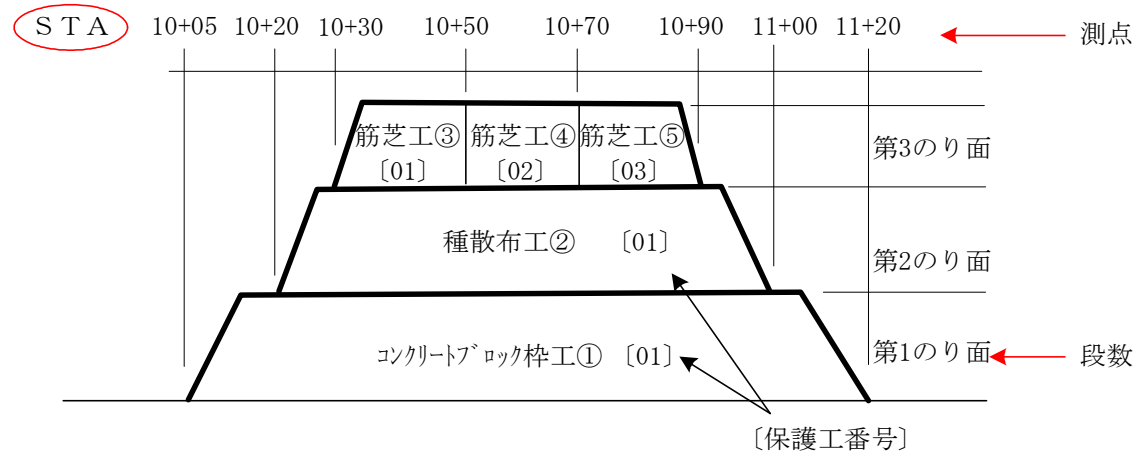
第4編 切土のり面

(7) 保護工番号

各段で施工した保護工の工種別毎に、2桁までの数字で入力する。

入力に際しては、下図を参考にする。

下図のケースの場合、保護工①～⑤のデータを5件入力する。



※2022/04/01 より入力不要

~~(8) 設計区分~~

~~当該データの入力内容が、「当初設計」か「変更設計」かをコードより選択し入力する。~~

~~工事による最終形をデータ入力する場合は、「変更設計」を選択すること。~~

(9) STA・KP・NOの測点作成方法

各保護工種別（保護工番号）の端部を測点とする。

建設時と補修時（供用後管理段階）では、測点の単位に相違があるため、測点の作成方法について以下に示すものである。

(a) 建設時

建設時の測点は、STAを用いるものとするが、KPがわかる場合は、管理_KP及び管理_Noについても作成する。加えて、当該路線のKP換算表を入手し「基本資料情報」に添付し提出するものとする。

(ア) 建設_STA（自）

当該保護工の起点側の測点を入力する。

(イ) 建設_STA（至）

当該保護工の終点側の測点を入力する。

(ウ) 建設_ランプ名

当該保護工が存在するランプ名称をA, B, C, D……で入力する。

(エ) 建設_No（自）

当該保護工が存在するランプの起点側の測点を入力する。

(オ) 建設_No（至）

当該保護工が存在するランプの終点側の測点を入力する。

(b) 補修時（供用後管理段階）

補修時の測点は、KP を用いるものとする。

(ア) 管理_KP（自）

当該保護工の起点側の測点を入力する。

(イ) 管理_KP（至）

当該保護工の終点側の測点を入力する。

(ウ) 管理_ランプ名

当該保護工が存在するランプ名称を A, B, C, D……で入力する。

(エ) 管理_No（自）

当該保護工が存在するランプの起点側の測点を入力する。

(オ) 管理_No（至）

当該保護工が存在するランプの終点側の測点を入力する。

(10) 保護工種別

当該切土のり面における保護工番号毎に、当該保護工種別を該当するコードから選択し入力する。

数量等については、「保護工別・数量単位一覧表」に示す星取りのものを必須とする。

保護工別・数量単位一覧表（1/3）

NO	区分	保護工種別		保護工 単位 1	保護工 単位 2	保護工 単位 3	保護工 単位 4	保護工 単位 5	保護工 単位 6	保護工 単位 7	保護工 単位 8
		コード									
1	植 生 工	01	筋芝工	面積 m ²							
2		02	張芝工	面積 m ²							
3		03	種散布工	面積 m ²	延長 m	斜長 m					
4		04	種吹付工	面積 m ²	延長 m	斜長 m					
5		05	植生穴工	面積 m ²	延長 m	斜長 m					
6		06	植生袋工	面積 m ²							
7		07	植生マット工	面積 m ²	延長 m	斜長 m					
8		08	植生筋工	面積 m ²							
9		61	植生基材吹付工	面積 m ²	体積 m ³	厚 cm					
10		09	その他植生工	面積 m ²							

保護工別・数量単位一覧表 (2/3)

NO	区分	保護工種別		保護工 単位 1	保護工 単位 2	保護工 単位 3	保護工 単位 4	保護工 単位 5	保護工 単位 6	保護工 単位 7	保護工 単位 8	
		コード										
11	のり面 に 構造物による 保護工	13	セメントモルタル吹付工	面積 m ²	厚 cm							
12		14	コンクリート吹付工	面積 m ²	厚 cm							
13		15	コンクリートブロック砕工 (中詰・植生)	面積 m ²	直高 m	砕スパン m	横 m (砕断面)	縦 m (砕断面)				
14		16	コンクリートブロック砕工 (中詰・栗石)	面積 m ²	直高 m	砕スパン m	横 m (砕断面)	縦 m (砕断面)				
15		17	コンクリートブロック砕工 (中詰・コンクリートブ ロック張等)	面積 m ²	直高 m	砕スパン m	横 m (砕断面)	縦 m (砕断面)				
16		72	コンクリートブロック砕工 (中詰・練詰)	面積 m ²	直高 m	砕スパン m	横 m (砕断面)	縦 m (砕断面)				
17		62	コンクリートブロック砕工 (土砂詰・土袋詰)	面積 m ²	直高 m	砕スパン m	横 m (砕断面)	縦 m (砕断面)				
18		18	コンクリート吹付砕工	面積 m ²	直高 m	砕スパン m	横 m (砕断面)	縦 m (砕断面)				
19		19	現場打ちコンクリート砕工 (中詰・植生)	面積 m ²	直高 m	砕スパン m	横 m (砕断面)	縦 m (砕断面)				
20		20	現場打ちコンクリート砕工 (中詰・栗石)	面積 m ²	直高 m	砕スパン m	横 m (砕断面)	縦 m (砕断面)				
21		21	現場打ちコンクリート砕工 (中詰・コンクリートブ ロック張等)	面積 m ²	直高 m	砕スパン m	横 m (砕断面)	縦 m (砕断面)				
22		50	鋼製枠	面積 m ²	砕スパン m	横 m (砕断面)	縦 m (砕断面)					
23		63	切土補強土工	面積 m ²	延長 m	本数	ピッチ m	長さ m	打設角 (度)			
24		10	コンクリート張工	面積 m ²	延長 m	厚 cm	高さ m	斜長 m				
25		11	コンクリートブロック張工	面積 m ²	控 cm	高さ m	奥行き m					
26		22	コンクリートブロック積工	面積 m ²	控 cm	高さ m	奥行き m					
27		26	もたれ擁壁工	面積 m ²	延長 m	高さ m	奥行き m					
28		25	重力式コンクリート擁壁工	延長 m	直高 m							
29		27	井桁擁壁工	延長 m	直高 m							
30	46	逆T擁壁	延長 m	直高 m								
31	41	のり面アンカー工	延長 m	本数	設計アンカー 力 kN/m	定着長 m	受圧板種 類	ピッチ m	長さ m	打設角 (度)		
32	12	石張工	面積 m ²	延長 m	斜長 m							
33	23	石積工	延長 m	直高 m	面積 m ²							
34	42	じゃかご工	延長 m	径 cm	網目 cm	本数	長さ m					
35	43	ふとんかご工	幅 m	長さ m	厚 m	網目 cm	枚数	延長 m	最大高さ m			
36	44	編柵工	延長 m									
37	35	明暗渠工	延長 m	径 cm								
38	24	その他の構造物によるの り面保護工	面積 m ²	延長 m	直高 m							

保護工別・数量単位一覧表 (3/3)

NO	区分	保護工種別		保護工 単位 1	保護工 単位 2	保護工 単位 3	保護工 単位 4	保護工 単位 5	保護工 単位 6	保護工 単位 7	保護工 単位 8	
		コード										
39	落石雪 防止 柵工	37	落石防止柵工	延長 m	高さ m							
40		38	落石防止網工	面積 m ²	延長 m							
41		64	ネット工	面積 m ²								
42		40	その他の落石防止工	延長 m								
43		39	なだれ防止工	延長 m								
44	抑制工	65	水路工	面積 m ²	延長 m							
45		66	浸透防止工(充填)	面積 m ²								
46		67	浸透防止工(被覆)	面積 m ²								
47		68	浸透防止工(その他)	面積 m ²								
48		34	地下排水溝工	面積 m ²	延長 m	径 cm	本数	長さ (m/本)				
49		32	排水ボーリング工	延長 m	本数	長さ (m/本)	深さ m	水位低下 高 m				
50		33	集水井工	延長 m	径 m	本数	深さ m	水位低下 高 m				
51		69	排水トンネル	面積 m ²	延長 m	深さ m	水位低下 高 m					
52		70	排土工	面積 m ²	土量 m ³							
53		30	押え盛土工	面積 m ²	土量 m ³							
54		36	その他の排水工	面積 m ²	延長 m	径 cm	本数	長さ (m/本)				
55		31	その他の抑制工	面積 m ²	延長 m							
56		抑止工	73	杭工	肉厚 mm	径 mm	杭間隔 m	杭長 m				
57	28		鋼管杭工	延長 m	肉厚 mm	径 mm	杭間隔 m	杭長 m				
58	29		深礎(杭)工	延長 m	径 cm	本数						
59	41		のり面アンカー工	延長 m	本数	設計アンカー 力 kN/m	定着長 m	受圧板種 類	ピッチ m	長さ m	打設角 (度)	
60	74		その他の抑止工	延長 m	本数	径 cm	ピッチ m	長さ m				
61	そ の 他	45	無処理	面積 m ²								
62		71	軽量盛土工	面積 m ²	土量 m ³							
63		60	コンクリートマット工	面積 m ²	延長 m	斜長 m						
64		98	不明									
65		99	その他									

(11) 数量

保護工の施工数量は、「単位コード」に合わせた数値で入力する。(最大8つまで)

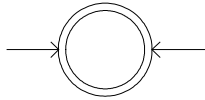
(12) 単位

保護工の施工単位をコードから選択し入力する。(最大8つまで)

第4編 切土のり面

(13) 標準杭径

当該保護工に施工された基礎が杭型式の場合に標準の杭径 (mm) を入力する。杭径が2種類以上ある場合、全体比で一番多く使用されているものを入力する。



(14) 最大杭径

当該保護工に施工された基礎が杭型式の場合に最大の杭径 (mm) を入力する。

(15) 平均杭長

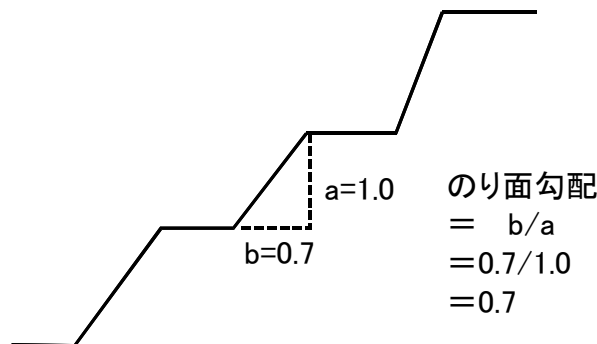
当該保護工に施工された基礎が杭型式の場合に平均の杭長 (m) を入力する。

(16) 杭本数

当該保護工に施工された基礎が杭型式の場合に杭の本数を入力する。

(17) 勾配

保護工の施工されているのり面 (段毎) の平均勾配を入力する。
入力に当たっては下図を参考にする。



※2022/04/01 より入力不要

~~(18) 湧水~~

~~当該切土のり面の段毎、保護工種別毎に湧水の状態を該当するコードから選択し入力する。湧水の区分状態は以下のとおりとする。~~

※2022/04/01 より参照不要

コード名称	内 容
流水	常時切土のり面より湧水が見られるもの。
常時しみ出し	量的には少ないが常に切土のり面が湧水により湿潤となっているもの。
降雨時しみ出し	降雨時または降雨後に限って湧水、しみ出しの見られるもの。
無し	湧水もしみ出しも見られないもの。

(19) 製品名

特殊な保護工を行った場合のみ製品名を20文字以内で入力する。

(20) 製造メーカー

特殊な保護工を行った場合のみ製造メーカーを20文字以内で入力する。

※2022/04/01 より入力不要

~~(21) 対策・補修理由~~

~~保護工補修時のみ、コードから選択し入力する。(最大3つまで)~~

~~(22) 地質_基盤層_地質年代~~

~~当該項目は、「3-3-2. のり面諸元情報 (22) 地すべり区分」でコードより「地すべり」を選択した場合は基盤層・移動層のうち基盤層についてデータ入力する。「それ以外」を選択した場合は、現状の地層についてデータを入力する。~~

~~当該切土のり面の段毎、保護工種別毎における地質年代を該当するコードから選択し入力する。~~

※2022/04/01 より参照不要

コード内容
第四紀（沖積世、洪積世）
新第三紀（鮮新世、中新世）
古第三紀（漸新世、始新世、暁新世）
中生代（白亜紀、ジュラ紀、三畳紀）
古生代（二畳紀、石炭紀、デボン紀、ゴトランド紀、オルドビス紀、カンブリア紀、プレカンブリア紀）

※2022/04/01 より入力不要

~~(23) 地質_基盤層_地質区分~~

~~当該項目は、「3-3-3. のり面諸元情報 (22) 地すべり区分」でコードより「地すべり」を選択した場合は基盤層・移動層のうち基盤層についてデータ入力する。「それ以外」を選択した場合は、現状の地層についてデータを入力する。~~

~~当該切土のり面の段毎、保護工種別毎における地質区分を該当するコードから選択し入力する。保護工内に複数の地質が存在する場合は、最も分布が優勢なものを選択する。~~

※2022/04/01 より入力不要

《地質区分》

コード名称	地質	コード名称	地質	コード名称	地質
火山岩	流紋岩	火山碎屑物	ローム	未固結層	粘土・粘性土
	石英安山岩		シラス		砂質土
	安山岩		火山砂礫		山砂
	玄武岩		火山泥流		砂礫
	その他の火山岩		その他の火山碎屑物		砂・粘土の互層
					その他の未固結層
深成岩	花崗岩	堆積岩	頁岩	変質粘土	温泉余土
	花崗閃緑岩		泥岩		その他の変質粘土
	閃緑岩		砂岩	風化土	マサ
	はんれい岩		礫岩		テラロッサ
	その他の深成岩		粘板岩		その他の風化土
	硬砂岩				
半深成岩	石英斑岩		チャート	変成岩	
	ふん岩		泥岩・砂岩互層		
	輝緑岩		石灰岩		
	その他の半深成岩		その他の堆積岩		
塩索性岩	かんらん岩		千枚岩		
	蛇紋岩		片岩		
	その他の塩索性岩		片麻岩		
火山碎屑岩	凝灰岩		ホルンフェルス		
	角礫凝灰岩	変朽安山岩			
	輝緑凝灰岩	その他の変成岩			
	集塊岩				
	その他の火山碎屑岩				

※2022/04/01 より入力不要

~~(24) 地質_移動層_地質年代~~

~~当該項目は、「3-3-3. のり面諸元情報 (22) 地すべり区分」でコードより「地すべり」を選択した場合のみデータ入力する。~~

~~当該切土のり面の段毎、保護工種別毎における地質年代を該当するコードから選択し入力する。~~

~~(25) 地質_移動層_地質区分~~

~~当該項目は、「3-3-3. のり面諸元情報 (22) 地すべり区分」でコードより「地すべり」を選択した場合のみデータ入力する。~~

~~当該切土のり面の段毎、保護工種別毎における地質区分を該当するコードから選択し入力する。保護工内に複数の地質が存在する場合は、最も分布が優勢なものを選択し入力する。~~

※2022/04/01 より入力不要

~~(26) 岩質区分~~

~~当該切土のり面の段毎、保護工種別毎における岩質区分(土砂、軟岩、硬岩)を該当するコードから選択し入力する。~~

~~保護工内に複数の岩質が存在する場合には、最も分布が優勢なものを選択し入力する。~~

~~(27) 地層名~~

~~当該切土のり面の段毎、保護工種別毎に地層名を20文字以内で入力する。~~

~~地層名称について参考例を下表に示す。~~

※2022/04/01 より入力不要

地 域	地 層 名
北海道	石狩層群
福島県	縄沢層、萩野凝灰岩層、魚沼層
新潟県	西山層、椎谷・寺泊層
富山県	八尾累層
長野県	小川層
神奈川県	須雲川安山岩
千葉県	嶺岡層
埼玉県	長瀬変成岩
静岡県	掛川層群、相良層群、倉新層群、大井川層群、瀬戸川層群
群馬県	秩父古生層、板曇層
兵庫県	北但層群、神戸層群
四国地方	和泉砂岩層、三波川変成岩、秩父層
長崎県、佐賀県	佐世保層群

(28) 施工年月日

当該保護工施工作業を完了した年月日を入力する。

(29) 契約番号

当該切土のり面工事の工事契約番号を入力する。

3-3-10 排水施設情報

各段に存在する排水施設に関するデータを入力するものである。

(1) 支社局

「3-3-1. 切土のり面基本情報 (1) 支社局」で示した支社局名と関連するものをコードより選択し入力する。

(2) 事務所

「3-3-1. 切土のり面基本情報 (2) 事務所」で示した事務所名と関連するものをコードより選択し入力する。

(3) 道路

「3-3-1. 切土のり面基本情報 (3) 道路」で示した道路名と関連するものをコードより選択し入力する。

(4) IC (自)

「3-3-1. 切土のり面基本情報 (4) IC (自)」で示した IC (自) と関連するものをコードより選択し入力する。

(5) のり面番号

「3-3-1. 切土のり面基本情報 (6) のり面番号」で示したのり面番号と関連するものを
入力する。

(6) 段

当該排水施設が存在する第 n 段 (第 n のり面・第 n 小段) を示す。

(7) 排水施設番号

当該切土のり面番号内に存在する、各小段(第 n 段)・各のり面(第 n 段)の排水施設種別毎に、ユニーク (重複はしない) となる番号を連番で付与する。排水施設番号の付与方法は、「3-1-1 基本定義 排水施設番号の付与方法」を参照のこと。

(8) 設計区分

当該データの入力内容が、「当初設計」か「変更設計」かをコードより選択し入力する。
工事による最終形をデータ入力する場合は、「変更設計」を選択すること。

(9) STA・KP・NOの測点作成方法

排水こうの設置端部を起点・終点で示す。縦排水こうが垂直に設置されている場合は(自)(至)に同じ測点を入力する。

建設時と補修時(供用後管理段階)では、測点の単位に相違があるため、測点の作成方法について以下に示すものである。

(a) 建設時

建設時の測点は、STAを用いるものとするが、KPがわかる場合は、管理_KP及び管理_Noについても作成する。加えて、当該路線のKP換算表を入手し「基本資料情報」に添付し提出するものとする。

(ア) 建設_STA(自)

当該排水施設の起点側の測点を入力する。

(イ) 建設_STA(至)

当該排水施設の終点側の測点を入力する。

(ウ) 建設_ランプ

当該排水施設が存在するランプ名称をA, B, C, D……で入力する。

(エ) 建設_No(自)

当該排水施設が存在するランプの起点側の測点を入力する。

(オ) 建設_No(至)

当該排水施設が存在するランプの終点側の測点を入力する。

(b) 補修時(供用後管理段階)

補修時の測点は、KPを用いるものとする。

(ア) 管理_KP(自)

当該排水施設の起点側の測点を入力する。

(イ) 管理_KP(至)

当該排水施設の終点側の測点を入力する。

(ウ) 管理_ランプ

当該排水施設が存在するランプ名称をA, B, C, D……で入力する。

(エ) 管理_No(自)

当該排水施設が存在するランプの起点側の測点を入力する。

(オ) 管理_No(至)

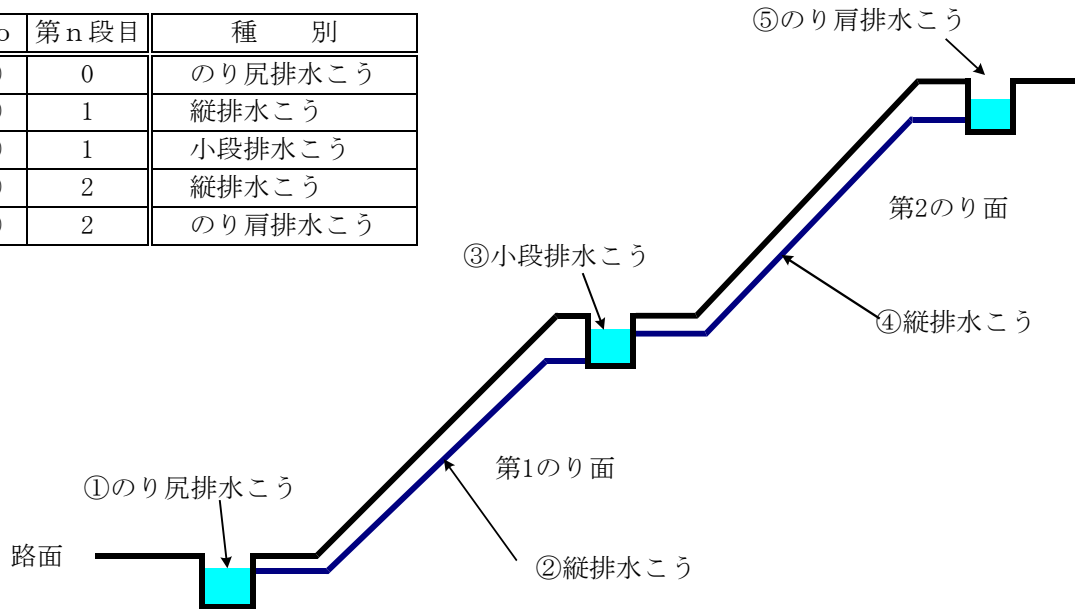
当該排水施設が存在するランプの終点側の測点を入力する。

第4編 切土のり面

(10) 排水こう種別

当該切土のり面における排水こう種別を該当するコードから選択し入力する。
排水こう種別は下図のとおりである。

No	第n段目	種別
①	0	のり尻排水こう
②	1	縦排水こう
③	1	小段排水こう
④	2	縦排水こう
⑤	2	のり肩排水こう



(11) 材質区分

当該排水施設番号における排水こうの材質をコードから選択し入力する。

(12) 記号 (契約単価項目名)

該当する排水施設の設計図書に示されている記号を入力する。入力に際し、ふた付きの記号は「^」とする。

記入例) Dc ^ (D) -0.50-0.50-0.60 (F)

誤 例) Type A

(13) ふたの有無

排水施設について、ふたの有無をコードから選択して入力する。

(14) 数量

排水施設の施工数量を単位に合った数値で入力する。

(15) 単位

排水施設の施工単位を該当するコードから選択し入力する。

(16) 補修理由

排水施設の補修時のみ該当するコードから選択して入力する。
建設時は、未入力とする。

(17) 施工年月日

施工作业が完了した年月日を入力する。

(18) 契約番号

当該切土のり面工事の工事契約番号を入力する。

3-3-11 【削除】崩壊情報

3-3-12 【削除】切土崩壊情報資料

3-3-13 【削除】対策情報

3-3-14 【削除】工法変更情報

3-3-15 【削除】動態観測情報

3-3-16 【削除】動態観測計器情報

3-3-17 【削除】報告書情報

第4編 切土のり面

3-3-18 切土のり面特殊土工

切土のり面特殊土工とは、切土のり面部で実施された軟弱地盤処理工の施工範囲と数量に関するデータを入力するものである。

(1) 支社局

当該切土のり面を管理する支社局名をコードから選択して入力する。

建設時で管理する支社局名が未定の場合は、建設工事を担当する支社局名を入力する。

(2) 事務所

当該切土のり面特殊土工を管理する事務所名をコードから選択して入力する。

建設時で管理事務所名が未定な場合は、工事事務所名を入力する。

(3) 道路

当該切土のり面特殊土工が存在する道路の道路名をコードから選択して入力する。

(4) IC (自)

当該切土のり面特殊土工が存在する1IC区間の起点側ICをコードから選択して入力する。

(5) 上下線区分

当該切土のり面特殊土工が存在する現在の上下線区分を該当するコードから選択して入力する。

(6) ルート区分

当該切土のり面特殊土工が存在する現在のルート区分を該当するコードから選択して入力する。

(7) 完成暫定区分

当該切土のり面特殊土工が存在する道路供用時の完成暫定区分を該当するコードから選択し入力する。

(8) STA・KP・NOの測点作成方法

切土のり面特殊土工の測点は、当該切土のり面特殊土工の位置を高速道路の測点で示すものである。測点は、同一特殊土工種別の端部を示す。

建設時と補修時（供用後管理段階）では、測点の単位に相違があるため、測点の作成方法について以下に示すものである。

(a) 建設時

建設時の測点は、STA を用いるものとするが、KP がわかる場合は、管理_KP 及び管理_No についても作成する。

(ア) 建設_STA (自)

当該切土のり面特殊土工の起点側の測点を入力する。

(イ) 建設_STA (至)

当該切土のり面特殊土工の終点側の測点を入力する。

(ウ) 建設_ランプ

当該切土のり面特殊土工が存在するランプ名称を A, B, C, D, …… で入力する。

(エ) 建設_No (自)

当該切土のり面特殊土工が存在するランプの起点側の測点を入力する。

(オ) 建設_No (至)

当該切土のり面特殊土工が存在するランプの終点側の測点を入力する。

(b) 補修時 (供用後管理段階)

補修時の測点は、KP を用いるものとする。

(ア) 管理_KP (自)

切土のり面特殊土工の起点側の測点を入力する。

(イ) 管理_KP (至)

切土のり面特殊土工の終点側の測点を入力する。

(ウ) 管理_ランプ

当該切土のり面特殊土工が存在するランプ名称を A, B, C, D, …… で入力する。

(エ) 管理_No (自)

当該切土のり面特殊土工が存在するランプの起点側の測点を入力する。

(オ) 管理_No (至)

当該切土のり面特殊土工が存在するランプの終点側の測点を入力する。

※2022/04/01 より入力不要

~~(9) 建設_支社局~~

~~当該切土のり面特殊土工を建設工事した支社・局名をコードから選択し入力する。~~

~~(10) 建設_工事事務所~~

~~当該切土のり面特殊土工を建設工事した事務所名をコードから選択し入力する。~~

(11) 設置箇所

当該切土のり面特殊土工が、存在する箇所区分をコードから選択し入力する。(本線、IC、SA 等)

第4編 切土のり面

(12) 連絡等施設

当該切土のり面特殊土工が、IC・JCTに存在する場合のIC・JCT番号をコードから選択し入力する。

(13) 休憩施設

当該切土のり面特殊土工が、SA・PA・BS・CBに存在する場合の休憩施設等番号をコードから選択し入力する。

(14) 供用年月日

当該切土のり面が実際に使用開始となる年月日を入力する。
建設時において予定日を入力する。未定の場合は、未入力とする。

(15) 特殊土工種別

当該切土のり面特殊土工の種別をコードから選択し入力する。

(16) 数量

当該切土のり面特殊土工の数量を単位にあった数値で入力する。

(17) 単位

当該切土のり面特殊土工の単位を該当するコードから選択して入力する。

(18) 契約番号

当該切土のり面工事の工事契約番号を入力する。